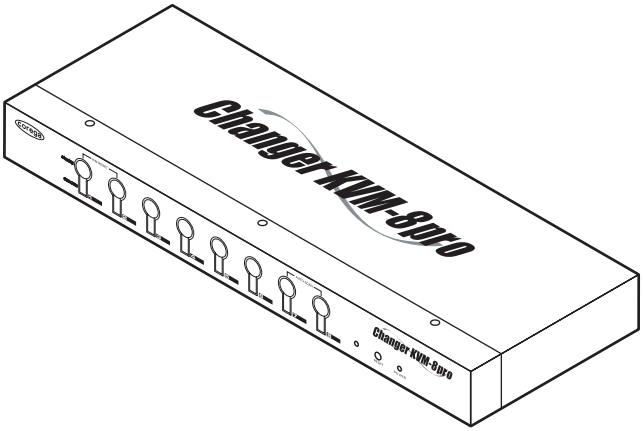
corega

# CG-CKVM8P
# 取扱説明書




Contents

お使いになる前にお読みください 1
本商品に接続する 2
OSD メニューで操作する 3
ホットキーで操作する 4
ポートセレクトボタンで操作する 5

J613-M7072-00 Rev.B

# 安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

## 警告表示の説明

**⚠警告** **この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

**⚠注意** **この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

## 絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例）

「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例 )

「電源プラグをコンセントから抜く」

## ⚠警告

**家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。**
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

**付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたは ACアダプタをほかの機器に使用しないでください。**
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

## ⚠警告

**電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。**
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは、ケーブル部を持って抜かないでください。

**電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。**
発熱して火災の原因となります。

**アース線を接続してください。**
本商品または電源ケーブルにアース端子が付いている場合は、アース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電、けが、火災、故障の原因となります。

**本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。**
感電、けが、火災、故障の原因となります。

**煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたはAC アダプタを電源コンセントから抜いてください。**
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

**本商品の通風孔から液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。**
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

**濡れた手で本商品を扱わないでください。**
感電の原因となります。

**雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。**
感電の原因となります。

**小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。**
けがの原因となります。

## ⚠警告

**梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。**
窒息する原因となります。

**不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。**
けが、故障の原因となります。

**本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。**
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

## ⚠注意

**本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。**
・多段積み
・通風孔をふさぐ
・前後左右、上部に十分なスペースがない
内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。
また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

## ⚠注意

**本商品を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。**

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなど高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所
- 水などの液体がかかる場所
- 振動のある場所
- ほこりの多い場所
- じゅうたんや布団などのある場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、ユニットバス、洗面所など、水気や湿気が多い場所
- 天井裏、クローゼットの中など、高温、多湿、風通しの悪い場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

感電、火災、故障の原因となります。

**お手入れ可能な場所に設置してください。**

本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

**設置または移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。**

感電、火災の原因となります。

**長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。**

火災の原因となります。

**本商品に強い衝撃を与えないでください。**

故障の原因となります。

**静電気が発生しやすい場所に設置したり、帯電した手で本商品を触らないでください。**

感電、故障の原因となります。

# はじめに

このたびは、「CG-CKVM8P」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

**http://corega.jp/**

## 本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

### ■記号について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 注意 | **操作中に気をつけていただきたい内容です。<br>必ずお読みください。** | メモ | **補足事項や参考となる情報を説明しています。** |

### ■表記について

| | |
|---|---|
| 本商品 | CG-CKVM8Pのことです。 |
| 「 」−「 」−「 」 | 「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。 |
| [ ] | [ ]で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。<br>例：OK → [OK] |
| Windows 7 | Microsoft® Windows® 7 Starter、<br>Microsoft® Windows® 7 Home Premium、<br>Microsoft® Windows® 7 Professional および<br>Microsoft® Windows® 7 Ultimate |
| Windows Vista | Microsoft® Windows Vista® Home Basic、<br>Microsoft® Windows Vista® Home Premium、<br>Microsoft® Windows Vista® Business および<br>Microsoft® Windows Vista® Ultimate |
| Windows XP | Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system<br>および Microsoft® Windows® XP Professional operating system |
| Windows 2000 | Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system |
| Windows Me | Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system |
| Windows 98SE | Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system |

※本書では、複数のOSを「Windows 7/Vista」のように併記する場合があります。

### ■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

## 本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置·接続·操作方法などについて説明しています。本書の構成は次のとおりです。

**■第 1 章　お使いになる前にお読みください**

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

**■第 2 章　本商品に接続する**

この章では、本商品の接続について説明しています。

**■第 3 章　OSD メニューで操作する**

この章では、OSD メニューでの操作について説明しています。

**■第 4 章　ホットキーで操作する**

この章では、ホットキー操作について説明しています。

**■第 5 章　ポートセレクトボタンで操作する**

この章では、ポートセレクトボタン操作について説明しています。

**■付録**

トラブルシューティングや 19 インチラックへの取り付け方法などを記載しています。また、保証や修理、コレガサポートセンタの連絡先などを記載しています。

## 付属品一覧

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□　CG-CKVM8P（corega Changer KVM-8pro）本体
□　AC アダプタ（2 極 1.8m）
□　19 インチラックマウントセット（ブラケット× 2、ネジ× 4）
□　取扱説明書（本書）　　□　製品保証書

## オプション品（別売り）について

本商品とパソコンの接続には、次のケーブル（別売り）が必要です。
接続するパソコンの台数に合わせて、必要なケーブルを用意してください。

> **注意** **コレガ指定のオプションケーブル以外は接続しないでください。対応しないケーブルを接続した場合、本商品・ケーブル・機器を破損するおそれがあります。**

### ■動作に必要なケーブル

本商品とパソコンを接続するために必要なケーブルです。本商品に対応するKVMケーブルは次のとおりです。

| 説明 | 型番 |
|---|---|
| KVMケーブル（PS/2対応） | KVMCBL120　（1.2m）<br>KVMCBL180　（1.8m）<br>KVMCBL300　（3m）<br>KVMCBL500　（5m）<br>KVMCBL1000（10m） |

### ■必要に応じて用意するもの

本商品とパソコンをUSBで接続する場合は、次の変換アダプタも必要になります。

| 説明 | 型番 |
|---|---|
| PS/2-USB変換アダプタ | CG-USBKMS |

### ■そのほかのオプション品

本商品に付属しているオプション品を紛失・破損した場合などに、次のオプション品を用意しています。

| 説明 | 型番 |
|---|---|
| 19インチラックマウントセット | CG-KVMRKMT1（付属品と同等品） |

## 推奨動作環境

本商品は、次のハードウェア環境を持つパソコンと周辺機器で動作します。

**■対応パソコン環境**

ミニ D-Sub（15 ピン）のアナログ RGB ディスプレイ出力端子と PS/2 端子（2 ポート）を標準搭載している DOS/V パソコン

**■対応 OS**

Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000/Me/98SE/98/95/3.1/NT4.0/NT3.51、Windows Server 2008（32bit）、Windows Server 2003（32bit）、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、MS-DOS6.2 以降、Free BSD（※）、Linux（※）
（※サポート対象外：Free BSD、Linux）

**■対応機器**

・アナログ RGB 対応ディスプレイ× 1

・PS/2 対応キーボード× 1

・PS/2 対応マウス× 1

注意

- 自作パソコンや、本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどで増設したパソコンはサポート対象外です。
- ノートパソコンでは、BIOSやハードウェアの制限により使用できない場合があります。
- NEC PC-9801／PC-9821シリーズには対応していません。
- 84 キーボード、AT規格キーボード、USB キーボードには対応していません。
- 変換アダプタを使用する場合、ほかのポートに干渉することがあります。
- DOS/V パソコン用キーボードのみ対応します。
- レジューム、サスペンド機能には対応していません。
- ディスプレイの省電力機能は、動作しない場合があります。
- 特定のパソコンやアプリケーションに依存するキー（ワンタッチボタン※を含む）や、特別な機能（専用ドライバやユーティリティなど）を持ったキーボードの動作についてはサポート対象外です。

※ワンタッチボタン :専用キーボードからレジューム機能、インターネット、電子メールソフトウェアなどをワンタッチで起動できるボタン。

メモ

ディスプレイの解像度は 1,920 × 1,440 まで対応します。ただし、お使いのディスプレイやグラフィックボードによって動作しない場合があります。

# 目次


安全にお使いいただくためにお読みください ..... 2
はじめに ..... 6
本書の読み方 ..... 6
本書の構成 ..... 7
付属品一覧 ..... 7
オプション品（別売り）について ..... 8
推奨動作環境 ..... 9
目次 ..... 11

**第 1 章**
**お使いになる前にお読みください ..... 15**

1.1 本商品の特長 ..... 16
1.2 各部の名称と機能 ..... 17
1.2.1 前面 ..... 17
1.2.2 背面 ..... 19
1.3 本商品の構成例 ..... 20
1.3.1 本商品を 1 台で使用する構成例 ..... 20
1.3.2 本商品をカスケード接続で使用する構成例 ..... 21

**第 2 章**
**本商品に接続する ..... 23**

2.1 本商品を設置する ..... 24
2.2 本商品を 1 台で使用する ..... 26
2.3 本商品をカスケード接続で使用する ..... 28
2.4 ホットプラグについて ..... 31
2.4.1 コンソールポートのホットプラグ ..... 31
2.4.2 パソコンポートのホットプラグ ..... 31
2.5 本商品を再起動する ..... 32
2.5.1 電源を入れ直して再起動する ..... 32
2.5.2 RESET ボタンで再起動する ..... 32
2.6 本商品の電源をオフにする ..... 33

**第 3 章**
**OSD メニューで操作する ..... 35**

**3.1 OSD メニューについて ..... 36**
3.1.1 OSD メニューを表示する ..... 36
3.1.2 OSD メニューを閉じる ..... 36
**3.2 OSD メニューのトップ画面 ..... 37**
3.2.1 OSD メニューでパソコンを切り替える ..... 40
**3.3 F1 GOTO ..... 41**
3.3.1 ポート名で切り替える ..... 41
3.3.2 ポート番号で切り替える ..... 43
**3.4 F2 SCAN ..... 44**
3.4.1 オートスキャンを開始する ..... 44
3.4.2 オートスキャンを終了する ..... 45
**3.5 F3 LIST ..... 46**
**3.6 F4 QV ..... 47**
3.6.1 クイックビューポートを設定する ..... 47
3.6.2 クイックビューポートを解除する ..... 48
**3.7 F5 EDIT ..... 49**
3.7.1 ポート名を設定する ..... 49
3.7.2 ポート名を変更・消去する ..... 50
**3.8 F6 SET ..... 52**
3.8.1 パスワードを設定する ..... 54
3.8.2 すべてのポート名を消去する ..... 57
3.8.3 設定を工場出荷時の状態に戻す ..... 59
3.8.4 ポートをロックする ..... 61

**第 4 章**
**ホットキーで操作する ..... 63**

**4.1 ホットキー操作について ..... 64**
**4.2 パソコンを指定して切り替える ..... 65**
**4.3 パソコンをオートスキャンで切り替える ..... 66**
4.3.1 オートスキャンを開始する ..... 66
4.3.2 オートスキャンを終了する ..... 67
**4.4 ビープ音を設定する ..... 68**

**第５章**
**ポートセレクトボタンで操作する .....69**
5.1 ポートセレクトボタン操作について .....70
5.2 パソコンを指定して切り替える .....71
5.3 パソコンをオートスキャンで切り替える .....72
5.3.1 オートスキャンを開始する .....72
5.3.2 オートスキャンを終了する .....72
5.4 キーボード・マウスをリセットする .....73

**付録 ..... 75**
トラブルシューティング .....76
19 インチラックマウントセットの取り付け方法 .....78
接続台数について .....79
工場出荷時の OSD 設定一覧 .....80
ホットキー一覧表 .....81
製品仕様 .....82
保証と修理について .....83
おことわり .....84

# 第 1 章
# お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。


**1.1　本商品の特長 ..... 16**
**1.2　各部の名称と機能 ..... 17**
1.2.1　前面 ..... 17
1.2.2　背面 ..... 19
**1.3　本商品の構成例 ..... 20**
1.3.1　本商品を 1 台で使用する構成例 ..... 20
1.3.2　本商品をカスケード接続で使用する構成例 ..... 21

# 1.1　本商品の特長

本商品は、1 組のコンソール（キーボード・マウス・ディスプレイ）で最大8 台のパソコンを切り替えて操作できるパソコン切替器です。

**■PS/2 キーボード／マウスに対応**

PS/2 のキーボードとマウスに対応します。

**■アナログ RGB ディスプレイに対応**

ディスプレイは汎用性の高いミニ D-Sub（15 ピン）に対応します。解像度は 1,920 × 1,440 まで対応します。

**■3 段のカスケード接続に対応**

本商品同士を KVM ケーブル（別売り）で接続することで、本商品に接続できるパソコンの台数を増やせます。本商品を 73 台接続することで、最大 512 台のパソコンを接続できます。

**■オートスキャン機能搭載**

一定時間で自動的にパソコンを切り替えるオートスキャン機能を搭載します。サーバなどの巡回監視に最適です。

**■3 とおりの切り替え方法に対応**

本体前面のポートセレクトボタンでの切り替え、ホットキー操作での切り替えのほか、OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューでの切り替えに対応します。

**■ホットプラグ対応**

電源を入れたままで、パソコンの接続と取り外しができます。

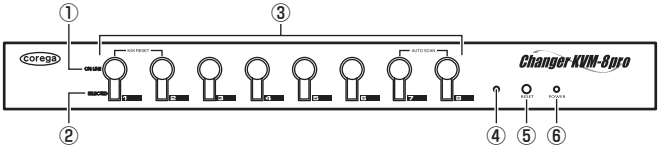
**■19 インチラックに収まる 1U サイズ**

付属の 19 インチラックマウントセットを使用することで、19 インチラックへの取り付けに対応します。

# 1.2　各部の名称と機能



## 1.2.1　前面




### ① ONLINE LED（緑）

パソコンの状態を表示します。

| LED 表示 | | 本商品の状態 |
|---|---|---|
| 色 | 状態 | |
| 緑 | 点灯 | ポートに接続したパソコンの電源がオンになっています。 |
| 緑 | 点滅 | ポートに本商品をカスケード接続しています。 |
| － | 消灯 | 次のいずれかの状態です。<br>・ポートにパソコンを接続していない<br>・ポートに接続したパソコンの電源がオンになっていない |

メモ　パソコンによって、パソコンの電源がオフでも ONLINE LED が点灯する場合があります。

### ② SELECTED LED（赤（橙））

ポートの状態を表示します。

| LED 表示 | | 本商品の状態 |
|---|---|---|
| 色 | 状態 | |
| 赤（橙） | 点灯 | ポートが選択されています。 |
| 赤（橙） | 点滅 | オートスキャンでポートが選択されています。 |
| － | 消灯 | ポートが選択されていません。 |

### ③ポートセレクトボタン

ポートの切り替えなどを操作するボタンです。

| 動作内容 | 操作法法 |
|---|---|
| ポートを切り替える | 1 ～ 8 のいずれかのボタンを押します。 |
| キーボードとマウスを<br>リセットする | 1 と 2 のボタンを同時に押します。 |
| オートスキャンを開始する | 7 と 8 のボタンを同時に押します。 |

☞P.69 「**第 5 章** ポートセレクトボタンで操作する」

### ④ブザー

ビープ音を出力します。

### ⑤RESET ボタン

キーボードやマウスの反応がないときに本商品を再起動できます。

> メモ 初期化ボタンは、クリップなどの硬くて先の細いものを使用して押してください。

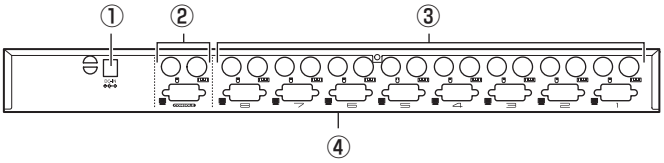
☞P.32 「2.5.2 RESET ボタンで再起動する」

### ⑥POWER LED（青）

本商品の電源の状態を表示します。

| LED 表示 | | 本商品の状態 |
|---|---|---|
| 色 | 状態 | |
| 青 | 点灯 | 本商品の電源がオンになっています。 |
| － | 消灯 | 本商品の電源がオンになっていません。 |

## 1.2.2　背面




**① DC ジャック**

付属の専用 AC アダプタを接続するためのコネクタです。

> **注意**
> - **本商品には必ず付属の専用 AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。**
> - **本商品に付属の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。**

**②コンソールポート**

キーボード、マウス、ディスプレイを接続するポートです。

**③パソコンポート**

KVM ケーブル（別売り）でパソコンに接続するポートです。

> **注意**
> **本商品専用の KVM ケーブルのみ接続できます。ほかの切替器の KVM ケーブルは本商品では使用できません。対応しないケーブルを接続した場合、本商品・ケーブル・機器を破損するおそれがあります。**
>
> **☞P.8「オプション品（別売り）について」**

**④シリアル番号／リビジョン（底面）**

シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへ問い合わせの際に必要となります。

# 1.3　本商品の構成例

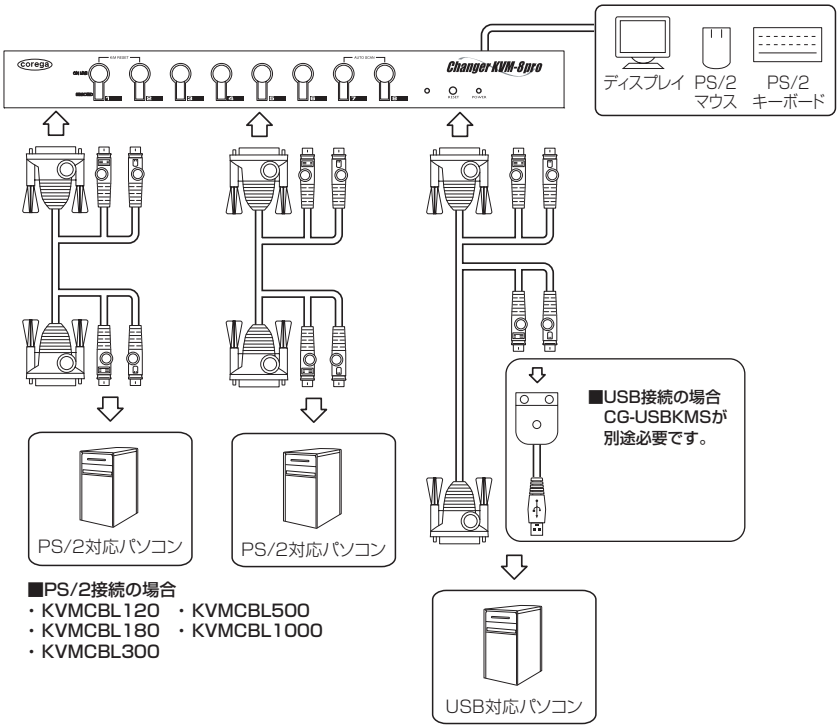
本商品の構成例を紹介します。お使いの環境に合わせた構成例をご覧ください。

☞P.20 「1.3.1 本商品を 1 台で使用する構成例」

☞P.21 「1.3.2 本商品をカスケード接続で使用する構成例」

## 1.3.1　本商品を 1 台で使用する構成例

本商品を 1 台で使用する場合、パソコンは 8 台まで接続できます。

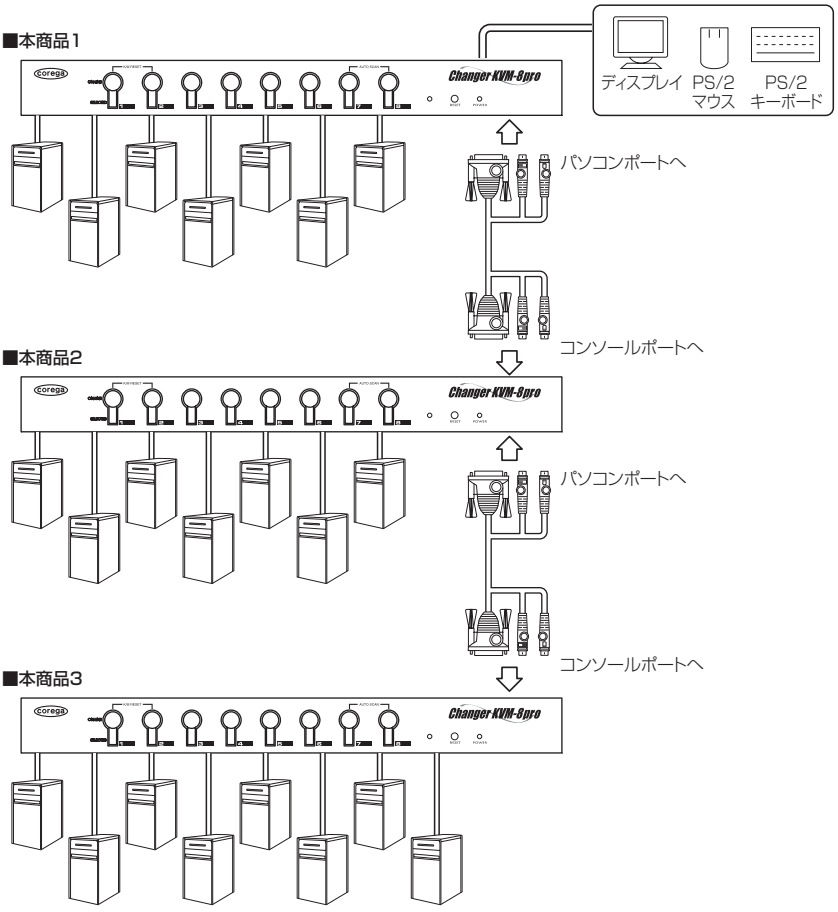



☞P.26 「2.2 本商品を 1 台で使用する」

メモ　本商品とパソコンの接続には、接続するパソコンの台数分の KVM ケーブル（別売り）が必要です。

## 1.3.2　本商品をカスケード接続で使用する構成例

本商品に接続するパソコンの台数が 8 台を超える場合、パソコンポートに複数台の本商品をカスケード接続することで、さらに多くのパソコンを接続できます。




☞P.28 「2.3 本商品をカスケード接続で使用する」

メモ　カスケード接続は 3 段まで対応します。本商品に接続できるパソコンの台数は、P.79「付録 接続台数について」をご覧ください。

# 第 2 章
# 本商品に接続する



この章では、本商品の接続について説明しています。


**2.1 本商品を設置する ..... 24**
**2.2 本商品を 1 台で使用する ..... 26**
**2.3 本商品をカスケード接続で使用する ..... 28**
**2.4 ホットプラグについて ..... 31**
2.4.1 コンソールポートのホットプラグ ..... 31
2.4.2 パソコンポートのホットプラグ ..... 31
**2.5 本商品を再起動する ..... 32**
2.5.1 電源を入れ直して再起動する ..... 32
2.5.2 RESET ボタンで再起動する ..... 32
**2.6 本商品の電源をオフにする ..... 33**

# 2.1　本商品を設置する

本商品を設置する前に、P.2 「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。

**■設置に適した場所**

・落下するおそれのない場所

・振動でゆれない安定した場所

・風通しの良い涼しい場所

**■設置に適さない場所**

・屋外、直射日光の当たる場所

・暖房器具の近くなど高温になる場所

・高温多湿な場所

・ほこりの多い場所

・背面の冷却ファンをふさぐ風通しの悪い場所

・パソコン、ディスプレイ、モデムなど発熱する機器の近く

・ディスプレイやスピーカなど磁気を帯びた機器の近く

**■そのほかの注意事項**

・AC アダプタや KVM ケーブルなどに無理な力を加えないでください。

・AC アダプタは、本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。

・本商品の上に物を置かないでください。

・本商品を屋外で使用しないでください。

・コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

次の手順で、本商品を設置します。

### *1*　机の上など水平な場所を用意します。

19インチラックに取り付ける場合は、P.78「付録　19 インチラックマウントセットの取り付け方法」をご覧ください。

### *2*　底面を下にして設置します。

以上で、設置は完了です。
引き続き、本商品とパソコンを接続します。本商品の構成によって手順が異なります。

☞P.26「2.2　本商品を 1 台で使用する」

☞P.28「2.3　本商品をカスケード接続で使用する」

本商品の構成は、P.20「1.3　本商品の構成例」を参考にしてください。

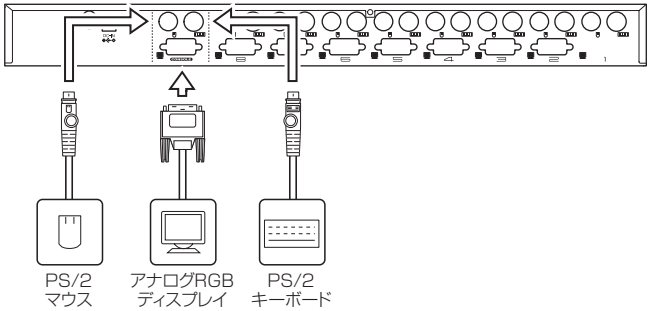
## 2.2　本商品を 1 台で使用する

次の手順で、本商品とパソコンを接続します。

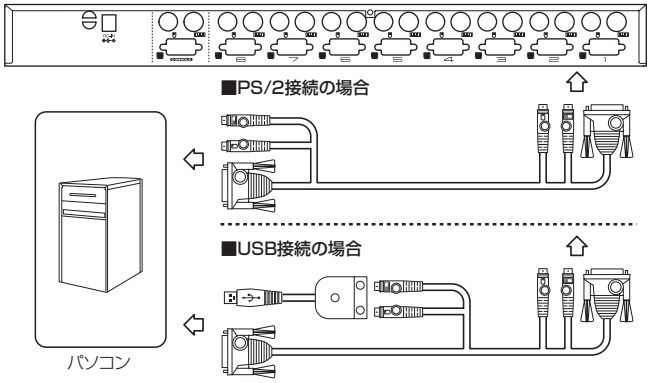
### *1*　接続するすべての機器の電源をオフにします。

> メモ　本商品のほか、キーボード・マウス・ディスプレイ・パソコンの電源もオフにしてください。パソコンは電源ケーブルも取り外してください。

### *2*　キーボード・マウス・ディスプレイを本商品背面のコンソール用ポートに接続します。




### *3*　KVM ケーブル（別売り）で本商品背面のパソコンポートにパソコンを接続します。



### *4*　本商品背面のDCジャックに付属のACアダプタを接続し、電源コンセントにプラグを差し込みます。

注意

- 必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外には接続しないでください。

### *5*　本商品が起動します。

「ピッ」とビープ音が鳴り、POWER LED（青）が点灯します。

### *6*　パソコンやディスプレイの電源をオンにします。

以上で、設置と接続は完了です。
引き続き、本商品の基本的な操作について説明します。

☞P.31「2.4 ホットプラグについて」

☞P.32「2.5 本商品を再起動する」

☞P.33「2.6 本商品の電源をオフにする」

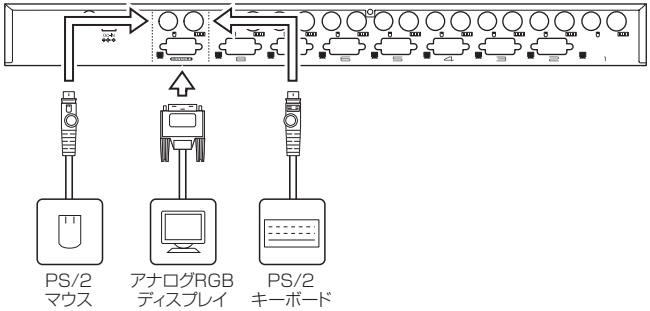
## 2.3　本商品をカスケード接続で使用する

次の手順で、本商品とパソコンを接続します。

### *1*　接続するすべての機器の電源をオフにします。

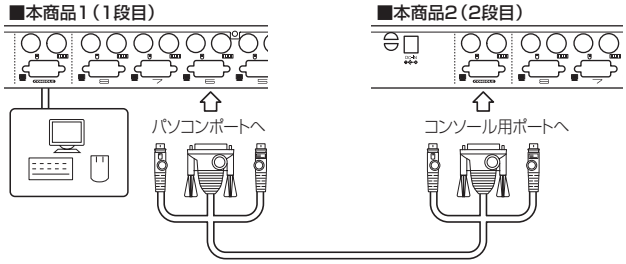
> 本商品のほか、キーボード・マウス・ディスプレイ・パソコンの電源もオフにしてください。パソコンは電源ケーブルも取り外してください。

### *2*　キーボード・マウス・ディスプレイを本商品背面のコンソール用ポートに接続します。

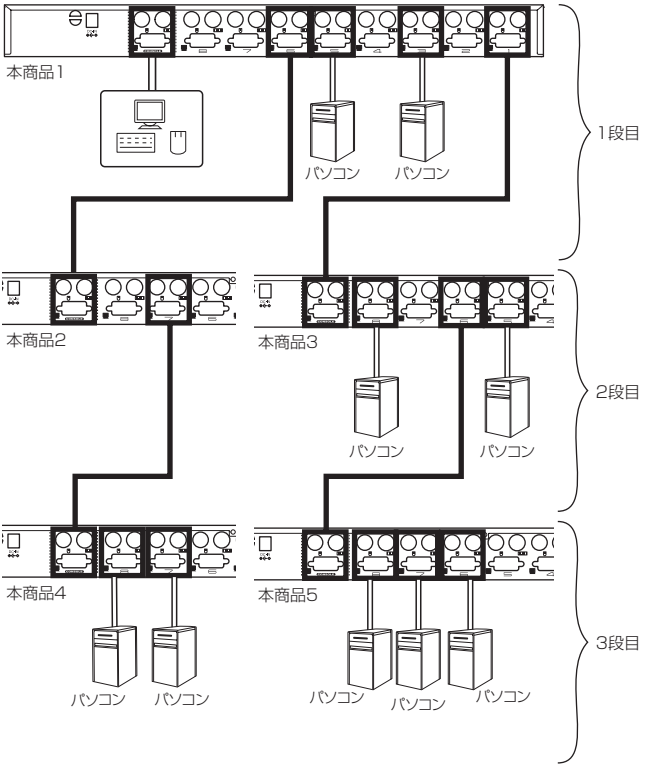



### *3*　KVM ケーブル（別売り）で本商品同士を接続します。

キーボード、マウス、ディスプレイを接続した本商品（1 段目）のパソコンポートと 2 台目の本商品（2 段目）のコンソール用ポートを接続します。

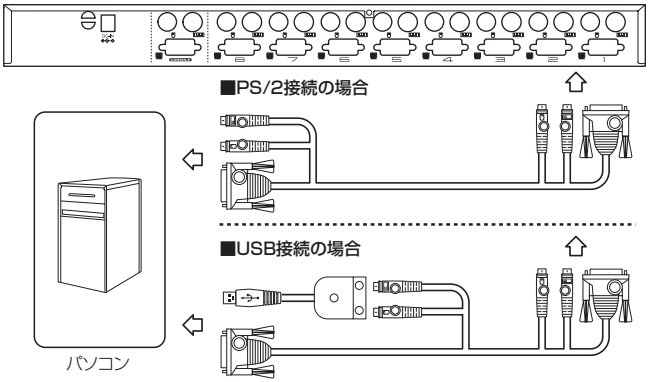


***4*** **【本商品を3台以上接続する場合】**手順3と同様に、KVMケーブル（別売り）で本商品同士を接続します。




メモ　カスケード接続は、3 段まで対応します。本商品に接続できるパソコンの台数は、P.79「付録　接続台数について」をご覧ください。

**5** KVM ケーブル（別売り）で本商品背面のパソコンポートにパソコンを接続します。




**6** 本商品背面のDCジャックに付属のACアダプタを接続し、電源コンセントにプラグを差し込みます。

3 段目→ 2 段目→ 1 段目の順に本商品の電源をオンにします。

注意

- 必ず本商品に付属のAC アダプタをお使いください。付属のAC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外には接続しないでください。

**7** 本商品が起動します。

「ピッ」とビープ音が鳴り、POWER LED（青）が点灯します。

**8** すべての本商品の電源をオンにしたあと、パソコンの電源をオンにします。

以上で、設置と接続は完了です。
引き続き、本商品の基本的な操作について説明します。

☞P.31「2.4 ホットプラグについて」

☞P.32「2.5 本商品を再起動する」

☞P.33「2.6 本商品の電源をオフにする」

# 2.4　ホットプラグについて

本商品はホットプラグに対応しています。キーボード、マウス、ディスプレイ、パソコンを接続したり、取り外したりするときに、本商品の電源をオフにする必要はありません。
本商品が対応するホットプラグは次のとおりです。

☞P.31 「2.4.1 コンソールポートのホットプラグ」

☞P.31 「2.4.2 パソコンポートのホットプラグ」



## 2.4.1　コンソールポートのホットプラグ

本商品のコンソールポート（キーボードポート、マウスポート、ディスプレイポート）はホットプラグに対応しています。本商品やパソコンの電源はオンのままでキーボード、マウス、ディスプレイの接続・取り外しができます。

**注意**

**・取り外し前と異なる機器を接続した場合は、すべての本商品とパソコンを再起動する必要があります。**

**・ホットプラグをしたあとにキーボードやマウスが反応しなくなった場合は、キーボード・マウスをリセットしてください。**
**☞P.73 「5.4 キーボード・マウスをリセットする」**

## 2.4.2　パソコンポートのホットプラグ

本商品のパソコンポートはホットプラグに対応しています。本商品やパソコンの電源はオンのままでパソコンの接続・取り外しができます。

**注意**

**パソコンがホットプラグに対応していない場合は、ホットプラグは適切に動作しません。本商品とパソコンを再起動してください。**
**☞P.32 「2.5 本商品を再起動する」**

## 2.5　本商品を再起動する

キーボードやマウスが反応しなくなった場合などに再起動します。
本商品の再起動には次の 2 とおりの方法があります。

☞P.32 「2.5.1 電源を入れ直して再起動する」

☞P.32 「2.5.2 RESET ボタンで再起動する」

### 2.5.1　電源を入れ直して再起動する

次の手順で再起動します。

***1*** **再起動する本商品に接続しているすべてのパソコンの電源をオフにします。**

***2*** **本商品のACアダプタを電源コンセントから取り外します。**

***3*** **10 秒以上経過してから AC アダプタを電源コンセントに接続します。**

***4*** **本商品が起動します。**

「ピッ」とビープ音が鳴ります。

以上で、本商品が再起動しました。

### 2.5.2　RESET ボタンで再起動する

次の手順で再起動します。

***1*** **本体前面の RESET ボタンを押して離します。**

***2*** **本商品が起動します。**

「ピッ」とビープ音が鳴ります。

以上で、本商品が再起動しました。

# 2.6　本商品の電源をオフにする

次の手順で本商品の電源をオフにします。

***1*** **本商品に接続しているすべてのパソコンの電源をオフにします。**

***2*** **本商品のACアダプタを電源コンセントから取り外します。**

以上で、本商品の電源がオフになりました。

# 第 3 章
# OSD メニューで操作する

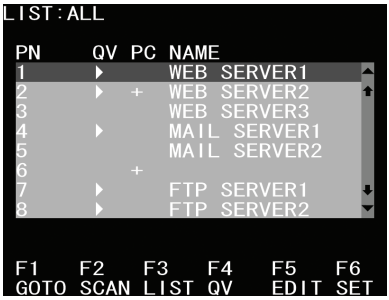
この章では、OSD メニューでの操作について説明しています。




**3.1 OSD メニューについて ..... 36**
3.1.1 OSD メニューを表示する ..... 36
3.1.2 OSD メニューを閉じる ..... 36
**3.2 OSD メニューのトップ画面 ..... 37**
3.2.1 OSD メニューでパソコンを切り替える ..... 40
**3.3 F1 GOTO ..... 41**
3.3.1 ポート名で切り替える ..... 41
3.3.2 ポート番号で切り替える ..... 43
**3.4 F2 SCAN ..... 44**
3.4.1 オートスキャンを開始する ..... 44
3.4.2 オートスキャンを終了する ..... 45
**3.5 F3 LIST ..... 46**
**3.6 F4 QV ..... 47**
3.6.1 クイックビューポートを設定する ..... 47
3.6.2 クイックビューポートを解除する ..... 48
**3.7 F5 EDIT ..... 49**
3.7.1 ポート名を設定する ..... 49
3.7.2 ポート名を変更・消去する ..... 50
**3.8 F6 SET ..... 52**
3.8.1 パスワードを設定する ..... 54
3.8.2 すべてのポート名を消去する ..... 57
3.8.3 設定を工場出荷時の状態に戻す ..... 59
3.8.4 ポートをロックする ..... 61

# 3.1 OSD メニューについて

OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューでは、ディスプレイの画面上で本商品の状態の確認・本商品の設定・パソコンの切り替えなど、本商品の設定と操作ができます。カスケード接続で、パソコンの接続台数が多くなった場合に便利です。




※画面は例です。

## 3.1.1 OSD メニューを表示する

次の手順で、OSD メニューを表示します。

### *1* キーボードの［Ctrl］キーを 2 回押します。

メモ

・同じ [Ctrl] キーを押してください。

・キー操作は、[Scroll Lock] キーの 2 回押しにも変更できます。

☞ P.52「3.8 F6 SET」

以上で、OSD メニューを表示しました。
引き続き、OSD メニューについて詳しくは、**P.37**「3.2 OSD メニューのトップ画面」をご覧ください。

## 3.1.2 OSD メニューを閉じる

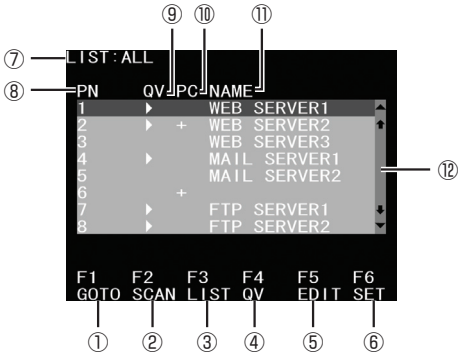
次の手順で OSD メニューを閉じます。

### *1* OSD メニューで、［ESC］キーを押します。

以上で、OSD メニューを閉じました。
再度 OSD メニューを表示するには、**P.36**「3.1.1 OSD メニューを表示する」をご覧ください。

# 3.2　OSD メニューのトップ画面

OSD メニューのトップ画面です。OSD メニューはキーボードで操作できます。




※画面は例です。

### ① F1 GOTO

「F1 GOTO」画面を表示します。
「F1 GOTO」画面でポート名（NAME）やポート番号（PN）を入力してパソコンポートを切り替えられます。

☞P.41 「3.3 F1 GOTO」

### ② F2 SCAN

オートスキャン機能でポートを切り替えられます。

> メモ
> ホットキー操作やポートセレクトボタンでのオートスキャンと同じ機能です。
> ☞ P.66 「4.3 パソコンをオートスキャンで切り替える」
> ☞ P.72 「5.3 パソコンをオートスキャンで切り替える」

☞P.44 「3.4 F2 SCAN」

### ③ F3 LIST

「F3 LIST」画面を表示します。
「F3 LIST」画面でリストを設定して、OSD メニューで表示するパソコンポートを選択できます。

☞P.46 「3.5 F3 LIST」

④F4 QV

クイックビューポート（QV）を設定できます。

☞P.47 「3.6 F4 QV」

⑤F5 EDIT

ポート名（NAME）を設定できます。

☞P.49 「3.7 F5 EDIT」

⑥F6 SET

「F6 SET」画面を表示します。
「F6 SET」画面で本商品の機能を設定できます。

☞P.52 「3.8 F6 SET」

⑦LIST

「F3 LIST」画面で選択した設定が表示されます。

☞P.46 「3.5 F3 LIST」

⑧ポート番号（PN）

各パソコンが接続しているパソコンポートの番号を表示します。
ポート番号（PN）は次のような内容を表します。

- ポート番号（PN）が 1 桁の場合
  本商品を 1 台で使用しています。

  例：ポート番号（PN）が「3」
  本商品のポート 3 を表します。
- ポート番号（PN）が 2 桁の場合
  本商品をカスケード接続（2 段）で使用しています。

  例：ポート番号（PN）が「35」
  1 段目の本商品のポート 3 に接続した、2 段目の本商品のポート 5 を表します。
- ポート番号（PN）が 3 桁の場合
  本商品をカスケード接続（3 段）で使用しています。

  例：ポート番号（PN）が「357」
  1 段目の本商品のポート 3 に接続した、2 段目の本商品のポート 5 に接続している、3 段目の本商品のポート 7 を表します。

**⑨クイックビュー（QV）**

クイックビューポート（QV）として選択したポートにアイコンが表示されます。

☞**P.47**「3.6 F4 QV」

**⑩パソコン（PC）**

電源がオンになっているパソコンにアイコンが表示されます。

**⑪ポート名（NAME）**

ポート名（NAME）が表示されます。ポート名（NAME）は「F5 EDIT」画面で設定します。

☞**P.49**「3.7 F5 EDIT」

**⑫リスト**

本商品のパソコンポートの設定・状態を表示します。[ ↑ ][ ↓ ] キーでリストを 1 行ずつスクロールしたり、[Page Up][Page Down] キーで 1 画面ごとスクロールしたりできます。

☞**P.40**「3.2.1 OSD メニューでパソコンを切り替える」

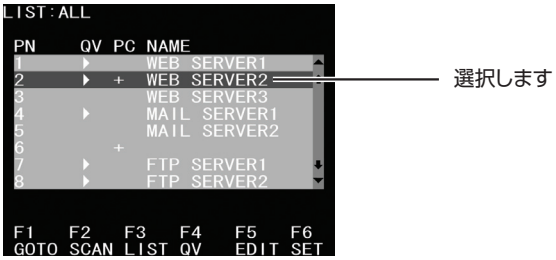
## 3.2.1　OSD メニューでパソコンを切り替える

次の手順で、OSD メニューでパソコンを切り替えます。

### *1*　OSD メニューを表示します。

☞P.36 「3.1.1 OSD メニューを表示する」

### *2*　[↑] [↓] キーを押し、切り替えたいポートを選択して、[Enter] キーを押します。




メモ　切り替えをキャンセルするときは、[Ecs] キーを押してください。

### *3*　選択したポートに切り替わります。

以上で、パソコンの切り替えは完了です。

# 3.3　F1 GOTO

ポート名（NAME）やポート番号（PN）を入力してパソコンポートを切り替えられます。

メモ
- ポート名（NAME）の設定について詳しくは、P.49　「3.7 F5 EDIT」をご覧ください。
- ポート番号（PN）について詳しくは、P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」をご覧ください。
- 切り替えないで OSD メニューに戻る場合は、［Esc］キーを押してください。

## 3.3.1　ポート名で切り替える

パソコンポートをポート名（NAME）で切り替えられます。

メモ
ポート名（NAME）で切り替える場合は、あらかじめ「F5 EDIT」でポート名（NAME）を設定する必要があります。
☞ P.49「3.7 F5 EDIT」

次の手順で切り替えます。

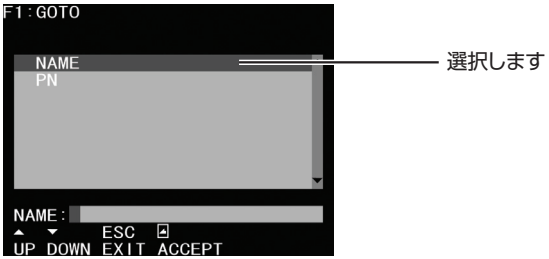
***1*　OSD メニューを表示します。**

☞P.36「3.1.1 OSD メニューを表示する」

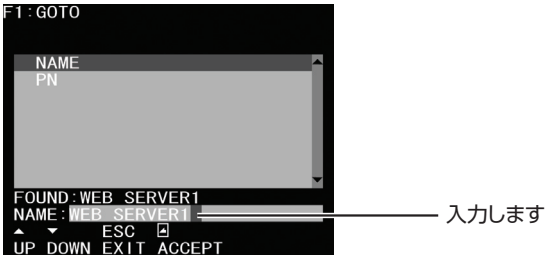
***2*　［F1］キーを押します。**

☞P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」

### *3* 「NAME」を選択し、[Enter] キーを押します。




### *4* 切り替えたいポート名を入力し、[Enter] キーを押します。




メモ 入力した文字に合うポート名がリストアップされます。

以上で、ポート名（NAME）での切り替えは完了です。

## 3.3.2　ポート番号で切り替える

パソコンポートをポート番号（PN）で切り替えられます。
次の手順で切り替えます。

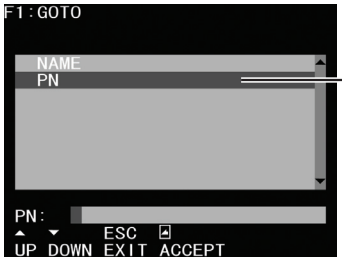
***1*** **OSD メニューを表示します。**

☞P.36「3.1.1 OSD メニューを表示する」

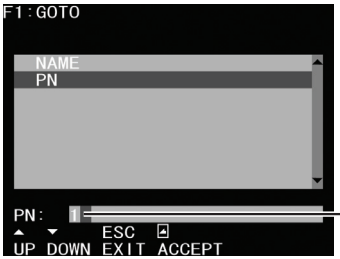
***2*** **[F1] キーを押します。**

☞P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」

***3*** **「PN」を選択し、[Enter] キーを押します。**




***4*** **切り替えたいポート番号を入力し、[Enter] キーを押します。**




以上で、ポート番号（PN）での切り替えは完了です。

# 3.4 F2 SCAN

SCAN（オートスキャン）は、パソコンポートを一定時間で自動的に切り替える機能です。この機能は複数台のパソコン（サーバなど）の巡回監視に最適です。

メモ

・パソコンを接続していないポートや、パソコンの電源がオンになっていないポートにも切り替わります。初期設定では、すべてのパソコンポートに 3 秒間隔で切り替わります。

・切り替える対象のポートは「F3 LIST」で設定します。

P.46 「3.5 F3 LIST」

・切り替える時間は「F6 SET」で設定します。

P.52 「3.8 F6 SET」

## 3.4.1 オートスキャンを開始する

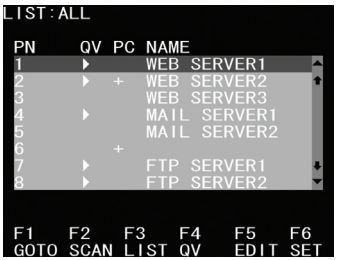
次の手順でオートスキャンを開始します。

### *1* OSD メニューを表示します。

P.36 「3.1.1 OSD メニューを表示する」

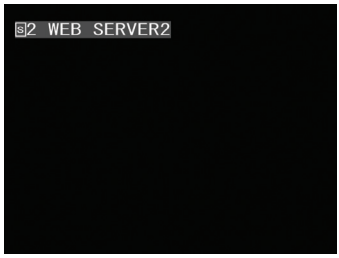
### *2* [F2] キーを押します。

「ピッ」とビープ音が鳴ります。



### *3*　「チャンネルディスプレイ」が表示されます。

スキャン中はポート番号（PN）の前に S アイコンが表示されます。




以上で、オートスキャンが開始しました。

## 3.4.2　オートスキャンを終了する

次の手順でオートスキャンを終了します。

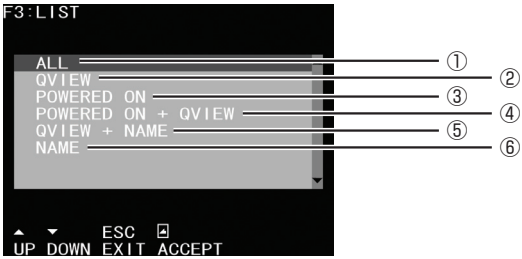
### *1*　オートスキャン中に［Space］キーを押します。

「ピピッ」とビープ音が鳴ります。

以上で、オートスキャンが終了しました。

# 3.5 F3 LIST

オートスキャンで切り替えるポートを設定します。




### ① ALL

すべてのポートを表示します。

### ② QVIEW

クイックビューポート（QV）で選択しているポートのみ表示します。

> メモ クイックビューポート（QV）の設定について詳しくは、P.47 「3.6 F4 QV」をご覧ください。

### ③ POWERED ON

パソコンの電源がオンになっているポートのみ表示します。

### ④ POWERED ON + QVIEW

クイックビューポート（QV）で選択し、さらにパソコンの電源がオンになっているポートのみ表示します。

### ⑤ QVIEW + NAME

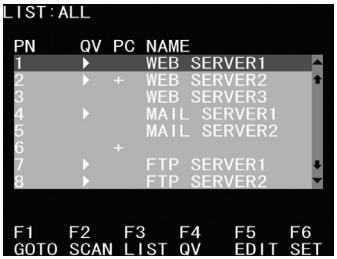
クイックビューポート（QV）で選択し、さらにポート名（NAME）が設定されているポートのみ表示します。

### ⑥ NAME

ポート名（NAME）が設定されているポートのみ表示します。

# 3.6　F4 QV

クイックビューポート（QV）を設定します。
クイックビューポート（QV）で、切り替えたい任意のポートを指定できます。

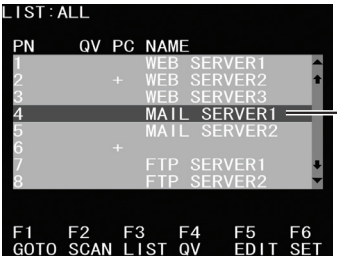




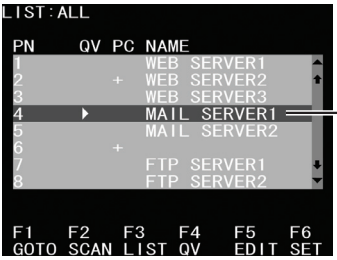

## 3.6.1　クイックビューポートを設定する

次の手順で任意のポートをクイックビューポート（QV）に設定できます。

***1***　**［↑］［↓］キーで、クイックビューポートに設定したいポートを選択します。**




***2***　**[F4]キーを押し、▶ アイコンが付いたことを確認します。**

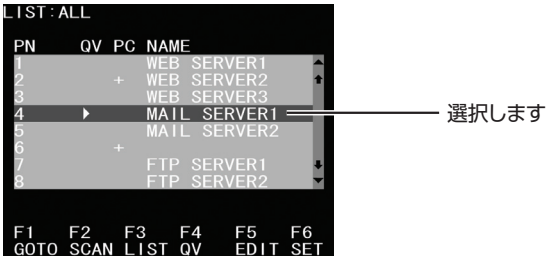


以上で、選択したポートがクイックビューポート（QV）に設定されました。
同じ手順でほかのポートもクイックビューポート（QV）に設定できます。

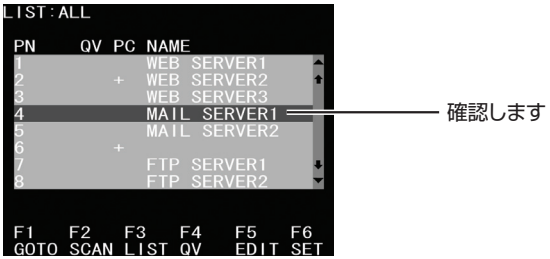
## 3.6.2 クイックビューポートを解除する

次の手順でクイックビューポート（QV）を解除します。

### *1* ［↑］［↓］キーで、解除したいポートを選択します。



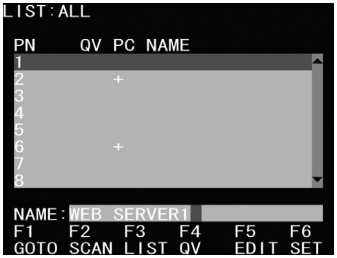

### *2* [F4]キーを押し、▶アイコンが消えたことを確認します。




以上で、選択したポートのクイックビューポート（QV）の設定が解除されました。

# 3.7　F5 EDIT

ポート名（NAME）を設定します。

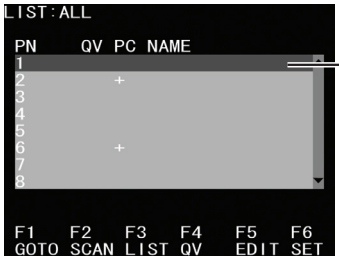




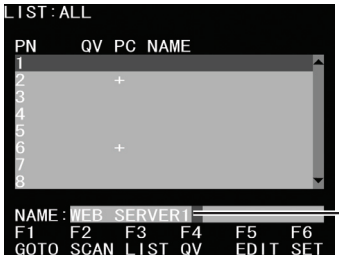

## 3.7.1　ポート名を設定する

次の手順でポートにポート名（NAME）を設定します。

***1*** **［↑］［↓］キーで、ポート名を設定したいポートを選択し、［F5］キーを押します。**

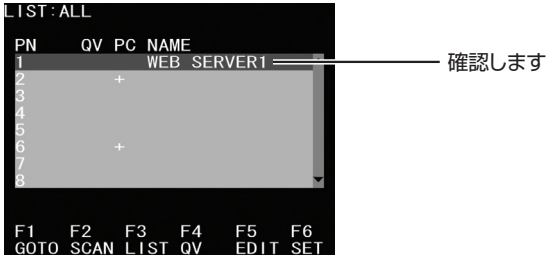



***2*** **「NAME」に名称を入力し、［Enter］キーを押します。**



・入力したアルファベットはすべて大文字になります。
・「0」～「9」、「A」～「Z」、「-」、「.」、「/」のみ入力できます。

### *3* ポート名が設定されたことを確認します。

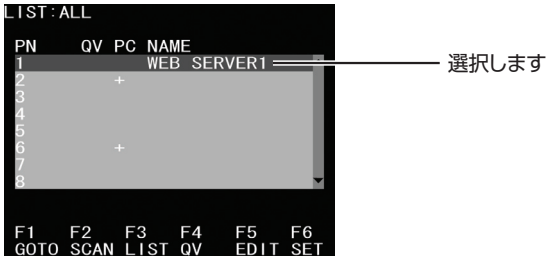



以上で、ポートにポート名（NAME）を設定しました。
同じ手順でほかのパソコンポートにもポート名（NAME）を設定できます。

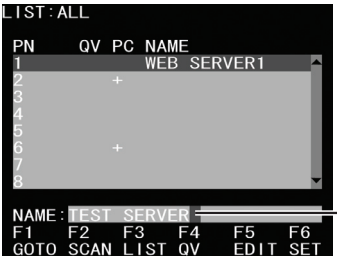
## 3.7.2 ポート名を変更・消去する

次の手順でポート名（NAME）を変更します。

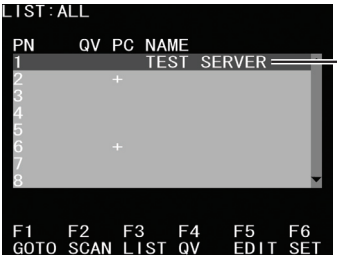
### *1* [↑] [↓] キーで、変更したいポートを選択し、[F5] キーを押します。



### *2*　ポート名を変更し、[Enter] キーを押します。




### *3*　変更が反映されたことを確認します。



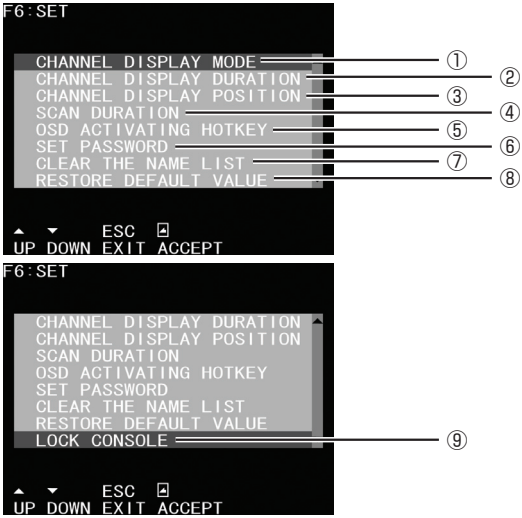

以上で、ポート名（NAME）が変更されました。

メモ

・ポート名（NAME）の消去も同じ手順で設定できます。
・すべてのポート名（NAME）を初期化する場合は、次の項目をご覧ください。
☞P.57「3.8.2　すべてのポート名を消去する」

# 3.8 F6 SET

本商品の機能を設定します。




### ①CHANNEL DISPLAY MODE

ポートを切り替えたときにディスプレイ上に表示するチャンネルディスプレイの表示内容を設定します。

- PN + NAME
  ポート番号（PN）とポート名（NAME）の両方を表示します（初期値）。
- PN
  ポート番号（PN）のみ表示します。
- NAME
  ポート名（NAME）のみ表示します。

### ②CHANNEL DISPLAY DURATION

チャンネルディスプレイの表示時間を設定します。

- 3 SECONDS
  チャンネルディスプレイを３秒間表示します（初期値）。
- ALWAYS ON
  チャンネルディスプレイを常時表示します。

### ③ CHANNEL DISPLAY POSITION

チャンネルディスプレイの表示場所を設定します。
［↑］［↓］［←］［→］［Page Up］［Page Down］［Home］［End］［5］（Num Lock をオフにしたテンキー）で移動し、［Enter］で設定します。

### ④ SCAN DURATION

オートスキャンの時間間隔を「3、5、10、15、20、30、40、60（秒）」から設定します（初期値：３秒）。

### ⑤ OSD ACTIVATING HOTKEY

OSD メニューを表示するホットキー操作を設定します。

- ［CTRL］+［CTRL］
  ［Ctrl］キーを２回押して OSD メニューを表示します（初期値）。
- ［SCRLL LOCK］+［SCRLL LOCK］
  ［Scroll Lock］キーを２回押して OSD メニューを表示します。

> メモ　お使いのソフトウェアなどで［Ctrl］キーをよく使うときに、［Scroll Lock］キーに変更してください。

### ⑥ SET PASSWORD

本商品にパスワードを設定できます（初期値：空欄）。
パスワードを設定すると、次の操作をするときにパスワードの入力が必要になります。

- OSD メニューの操作
- リストの消去（CLEAR THE NAME LIST）
- 初期設定に戻す（RESTORE DEFAULT VALUE）
- コンソールのロック（LOCK CONSOLE）

> 注意　パスワードを忘れると、OSD メニューの操作ができなくなります。パスワードを忘れないように注意してください。

> メモ　パスワードは、アルファベットと数字を組み合わせて８文字以内で設定してください。
>
> ☞P.54 「3.8.1 パスワードを設定する」

⑦CLEAR THE NAME LIST

設定したすべてのポート名（NAME）を消去します。

リビジョンが C1 以降の本商品では、クイックビューポート（QV）の設定も消去します。

☞P.47「3.6 F4 QV」

☞P.19「1.2.2 背面」

☞P.57「3.8.2 すべてのポート名を消去する」

⑧RESTORE DEFAULT VALUE

設定を工場出荷時の状態に戻します。

パスワード、ポート名（NAME）、クイックビューポート（QV）の設定は工場出荷時の状態に戻りません。

☞P.59「3.8.3 設定を工場出荷時の状態に戻す」

⑨LOCK CONSOLE/UNLOCK CONSOLE

ポートの切り替えとキーボードの文字入力をロック（固定）／アンロック（解除）します。ロックすると、ポートの切り替えとキーボードでの文字入力ができなくなります。

☞P.61「3.8.4 ポートをロックする」

## 3.8.1 パスワードを設定する

パスワードを設定すると、OSD メニューの操作にパスワードの入力が必要になります。ほかのユーザに OSD メニューを設定されないようにしたい場合は、パスワードを設定することをお勧めします。

次の手順でパスワードを設定します。

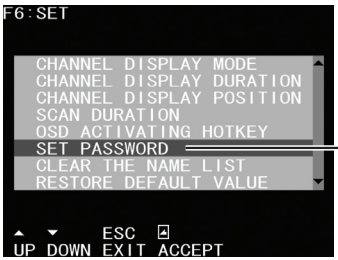
***1*** **OSD メニューを表示します。**

☞P.36「3.1.1 OSD メニューを表示する」

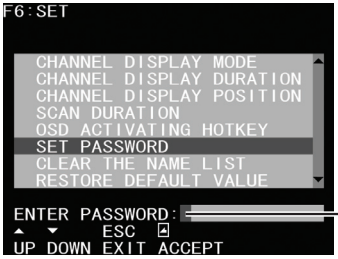
***2*** **［F6］キーを押します。**

☞P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」

**3** ［↓］キーで「SET PASSWORD」を選択し、[Enter] キーを押します。

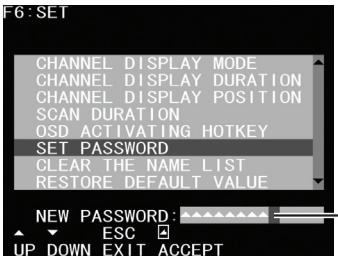



**4** 現在設定しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。



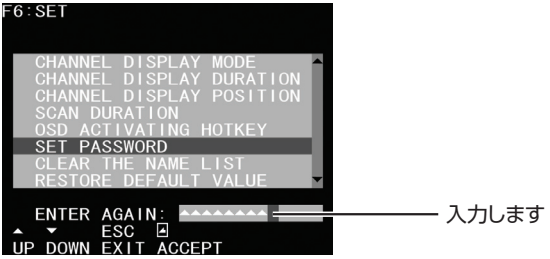

メモ　パスワードの初期値は空欄です。

**5** 新しいパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

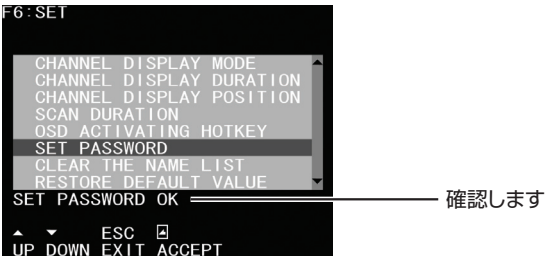


パスワードは、アルファベットと数字を組み合わせて８文字以内で設定してください。

### 6 再度新しいパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。




### 7 「SET PASSWORD OK」と表示されることを確認します。




「PASSWORD NOT MATCH」と表示された場合は、パスワードと新しいパスワードの入力を間違えています。パスワードを入力し直してください。

以上で、パスワードの設定は完了です。
パスワードを変更する場合は、同じ手順で設定できます。

## 3.8.2　すべてのポート名を消去する

次の手順で、設定したポート名（NAME）をすべて消去できます。

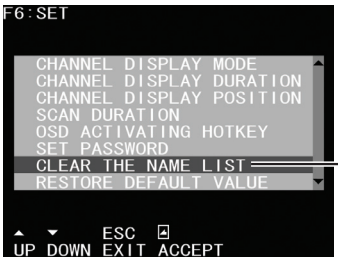
***1*** **OSD メニューを表示します。**

☞P.36「3.1.1 OSD メニューを表示する」

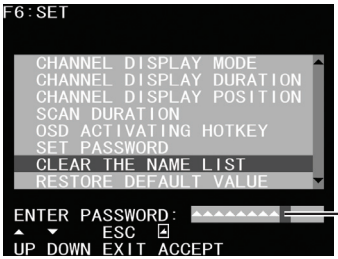
***2*** **[F6] キーを押します。**

☞P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」

***3*** **[↓] キーで「CLEAR THE NAME LIST」を選択し、[Enter] キーを押します。**

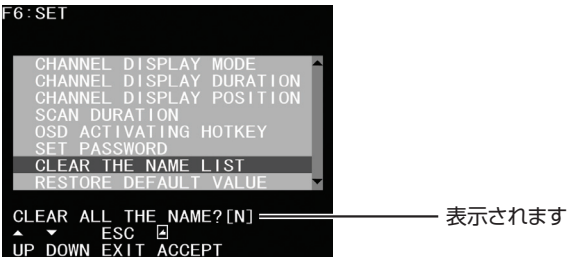



***4*** **パスワードを入力し、[Enter] キーを押します。**



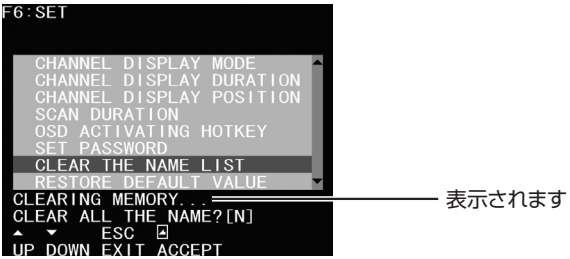

メモ　「INVALID PASSWORD」と表示される場合は、パスワードを間違えています。再度正しいパスワードを入力してください。

**5** 「CLEAR ALL THE NAME?[N]」と表示されます。[Y] キーを押します。

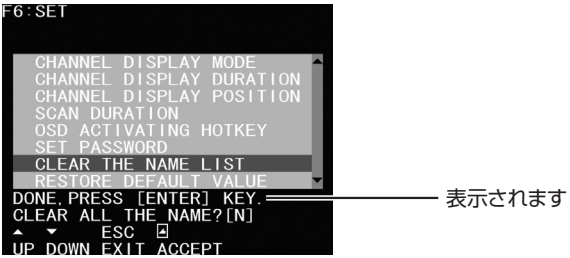



**6** 「CLEARING MEMORY...」と表示されます。

手順 7の画面が表示されるまで待ちます。




**7** 「DONE, PRESS [ENTER] KEY」と表示されます。[Enter] キーを押します。




以上で、すべてのポート名（NAME）の消去は完了です。

## 3.8.3　設定を工場出荷時の状態に戻す

次の手順で、設定を工場出荷時の状態に戻します。

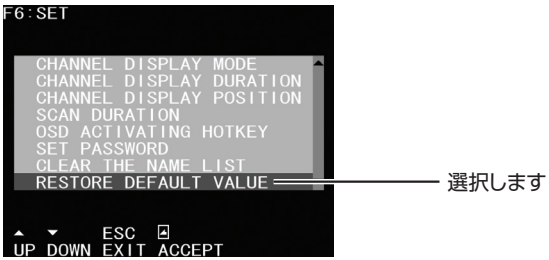
***1*** **OSD メニューを表示します。**

☞P.36「3.1.1 OSD メニューを表示する」

***2*** **[F6] キーを押します。**

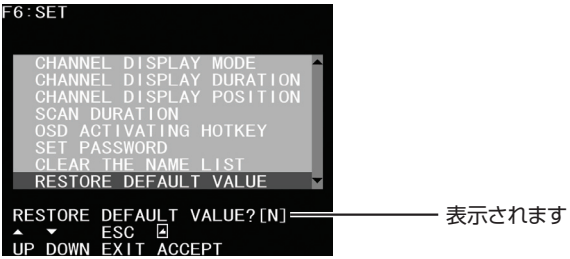
☞P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」

***3*** **[↓] キーで「RESTORE DEFAULT VALUE」を選択し、[Enter] キーを押します。**

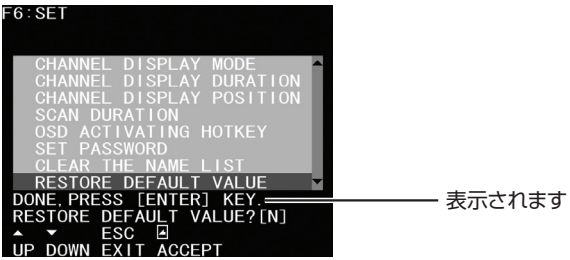


***4*** パスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

***5*** 「RESTORE DEFAULT VALUE?[N]」と表示されます。[Y] キーを押します。




***6*** 「DONE,PRESS [ENTER] KEY.」と表示されます。[Enter] キーを押します。




以上で、本商品の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## 3.8.4　ポートをロックする

次の手順で、ポートをロックします。

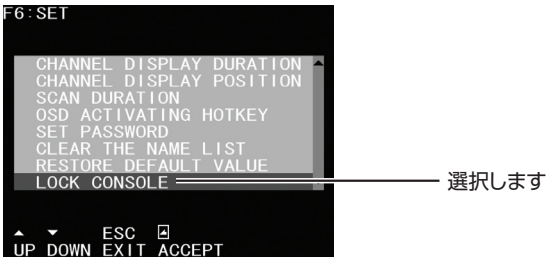
***1*** **OSD メニューを表示します。**

☞P.36「3.1.1 OSD メニューを表示する」

***2*** **[F6] キーを押します。**

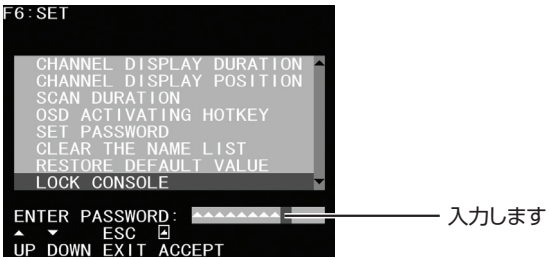
☞P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」

***3*** **[↓] キーで「LOCK CONSOLE」を選択し、[Enter] キーを押します。**

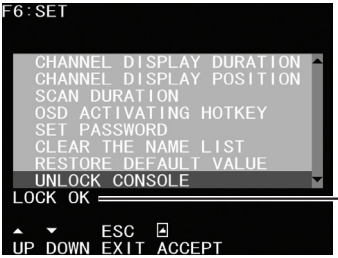



***4*** **パスワードを入力し、[Enter] キーを押します。**

「ピピピッ」とビープ音が鳴ります。



## *5* 「LOCK OK」と表示されます。




以上で、ポートのロックは完了です。
同じ手順で、ポートのロックを解除できます。

# 第４章
# ホットキーで操作する

この章では、ホットキー操作について説明しています。


**4.1　ホットキー操作について** ..... **64**
**4.2　パソコンを指定して切り替える** ..... **65**
**4.3　パソコンをオートスキャンで切り替える** ..... **66**
4.3.1　オートスキャンを開始する ..... 66
4.3.2　オートスキャンを終了する ..... 67
**4.4　ビープ音を設定する** ..... **68**

# 4.1　ホットキー操作について

本商品は、キーボードによるホットキー操作で、パソコンを切り替えられます。
ホットキー操作では次の操作ができます。

・パソコンを指定して切り替える

・パソコンをオートスキャンで切り替える

・ビープ音を設定する

# 4.2　パソコンを指定して切り替える

ホットキー操作でポート番号（PN）を指定して切り替えることで、操作したいパソコンに直接切り替えられます。

> メモ　パソコンポートに割り当てられたポート番号（PN）について詳しくは、P.37「3.2 OSD メニューのトップ画面」をご覧ください。

次の手順でパソコンを指定して切り替えます。

***1*** **[Ctrl]→[Alt]→[Shift]→[ポート番号]→[Enter]キーの順に押します。**

【本商品を 1 台で使用している場合】

例：ポート番号が「3」
[Ctrl] → [Alt] → [Shift] → [3] → [Enter] キー

【本商品をカスケード接続（2 段）で使用している場合】

例：ポート番号が「35」
[Ctrl] → [Alt] → [Shift] → [3] → [5] → [Enter] キー

【本商品をカスケード接続（3 段）で使用している場合】

例：ポート番号が「357」
[Ctrl] → [Alt] → [Shift] → [3] → [5] → [7] → [Enter] キー

> メモ
> ・テンキーでの数字の入力はできません。キーボード上部の数字キーで入力してください。
> ・それぞれのキーは、1 秒間隔以内で押してください。

以上で、指定したポート番号（PN）に接続されたパソコンに切り替わります。

# 4.3　パソコンをオートスキャンで切り替える

オートスキャンは、パソコンポートを一定時間で自動的に切り替える機能です。この機能は複数台のパソコン（サーバなど）の巡回監視に最適です。
OSD メニューの「F2 SCAN」と同じ機能です。

> メモ
> ・パソコンを接続していないポートや、パソコンの電源がオンになっていないポートにも切り替わります。初期設定では、すべてのパソコンポートに 3 秒間隔で切り替わります。
> ・切り替える対象のポートは「F3 LIST」で設定します。
> ☞ P.46 「3.5 F3 LIST」
> ・切り替える時間は「F6 SET」で設定します。
> ☞ P.52 「3.8 F6 SET」

## 4.3.1　オートスキャンを開始する

次の手順でオートスキャンを開始します。

**1　[Ctrl] → [Alt] → [Shift] → [0（数字のゼロ）] → [Enter] キーの順に押します。**

> メモ
> ・テンキーでの数字の入力はできません。キーボード上部の数字キーで入力してください。
> ・それぞれのキーは、1 秒間隔以内で押してください。

**2　「チャンネルディスプレイ」が表示されます。**

スキャン中は「ポート番号」の前に S アイコンが表示されます。

以上で、オートスキャンが開始しました。

## 4.3.2　オートスキャンを終了する

次の手順でオートスキャンを終了します。

***1*　オートスキャン中に［Space］キーを押します。**

「ピピッ」とビープ音が鳴ります。

以上で、オートスキャンが終了しました。

# 4.4　ビープ音を設定する

本商品のビープ音のオン／オフを設定できます。

> 本商品のリビジョンが C1 以降で対応します。
> ☞ P.19 「1.2.2 背面」

次の手順でビープ音を設定します。

***1*** **[Ctrl] → [Alt] → [Shift] → [B] → [Enter] キーの順に押します。**

ビープ音のオン／オフが切り替わります。

> ・テンキーでの数字の入力はできません。キーボード上部の数字キーで入力してください。
> ・それぞれのキーは、1 秒間隔以内で押してください。

以上で、ビープ音の設定が完了しました。

# 第５章
# ポートセレクトボタンで操作する

この章では、ポートセレクトボタン操作について説明しています。


**5.1　ポートセレクトボタン操作について ..... 70**
**5.2　パソコンを指定して切り替える ..... 71**
**5.3　パソコンをオートスキャンで切り替える ..... 72**
5.3.1　オートスキャンを開始する ..... 72
5.3.2　オートスキャンを終了する ..... 72
**5.4　キーボード・マウスをリセットする ..... 73**

# 5.1　ポートセレクトボタン操作について

本商品は、ポートセレクトボタンを押して、パソコンを直接指定して切り替えたり、オートスキャンを開始したりできます。
ポートセレクトボタン操作では次の操作ができます。

・パソコンを指定して切り替える
・パソコンをオートスキャンで切り替える
・キーボード・マウスをリセットする

## 5.2　パソコンを指定して切り替える

ポートセレクトボタンを押して、パソコンを直接指定して切り替えられます。
次の手順で切り替えます。

**1　切り替えたいパソコンが接続されたポートセレクトボタンを押します。**

**2　切り替えたいパソコンポートの SELECTED LED が点灯します。**

以上で、パソコンが切り替わりました。

> メモ　カスケード接続をしている場合は、切り替えたいパソコンが接続されたポートセレクトボタンを直接押してください。

## 5.3　パソコンをオートスキャンで切り替える

オートスキャンは、パソコンポートを一定時間で自動的に切り替える機能です。この機能は複数台のパソコン（サーバなど）の巡回監視に最適です。
OSD メニューの「F2 SCAN」と同じ機能です。

メモ

・パソコンを接続していないポートや、パソコンの電源がオンになっていないポートにも切り替わります。初期設定では、すべてのパソコンポートに 3 秒間隔で切り替わります。

・切り替える対象のポートは「F3 LIST」で設定します。

☞ P.46「3.5 F3 LIST」

・切り替える時間は「F6 SET」で設定します。

☞ P.52「3.8 F6 SET」

### 5.3.1　オートスキャンを開始する

次の手順でオートスキャンを開始します。

**1　キーボード・マウスを接続している本商品のポートセレクトボタン 7 と 8 を同時に押します。**

SELECTED LED が点滅し始めたら離します。

以上で、オートスキャンが開始しました。

### 5.3.2　オートスキャンを終了する

次の手順でオートスキャンを終了します。

**1　オートスキャン中に、切り替えたいポートセレクトボタンを押します。**

「ピピッ」とビープ音が鳴ります。

以上で、オートスキャンが終了しました。

## 5.4　キーボード・マウスをリセットする

キーボード・マウスのホットプラグのあとなどで、キーボード・マウスが正しく反応しなくなった場合は、次の手順でキーボード・マウスの接続状態をリセットできます。

***1*　キーボード・マウスを接続している本商品のポートセレクトボタン１と２を同時に３秒以上押して離します。**

「ピピッ」とビープ音が鳴ります。

以上で、キーボード・マウスの状態はリセットされました。

# 付録

トラブルシューティングや 19 インチラックへの取り付け方法などを記載しています。また、保証や修理、コレガサポートセンタの連絡先などを記載しています。


トラブルシューティング ..... 76
19 インチラックマウントセットの取り付け方法 ..... 78
接続台数について ..... 79
工場出荷時の OSD 設定一覧 ..... 80
ホットキー一覧表 ..... 81
製品仕様 ..... 82
保証と修理について ..... 83
おことわり ..... 84

# トラブルシューティング

本商品について、よくあるトラブルとその対処方法を説明します。

**■電源がオンにならない**

本商品は、付属のAC アダプタを接続しないで、パソコンのPS/2 ポートから電力を供給して動作できますが、電源がオンにならないときは、付属の AC アダプタを使用してください。
そのほか、本商品の電源がオンにならないときは、本商品に付属の AC アダプタを使用していること、AC アダプタが正しく接続されていること、正しい電源・電圧のコンセントを使用していることなどを確認してください。
それでも電源がオンにならない場合は、AC アダプタのケーブルが断線している可能性や、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり、修理を依頼してください。

☞ P.83 「保証と修理について」

**■LED が点灯・点滅しない**

POWER LED が点灯しない場合やほかの LED が点灯・点滅しない場合は、本商品の電源がオンになっていることを確認してください。

**■動作が安定しない**

本商品は、付属のAC アダプタを接続しないで、パソコンのPS/2 ポートから電力を供給して動作できますが、動作が安定しないときは、付属の AC アダプタを使用してください。
そのほか、本商品の動作が安定しないときは、AC アダプタが正しく接続されていること、正しい電源・電圧のコンセントを使用していること、キーボード・マウスを正しく接続していること、KVM ケーブルを正しく接続していることなどを確認してください。
それでも動作が安定しない場合は、本商品の電源を 5 秒以上あけて入れ直したり、接続するパソコンポートを変更したり、KVM ケーブルを変更したり、キーボード・マウスを変更したりするなどを確認してください。
ホットキー操作に反応しないときは、[Ctrl] − [Alt] − [Shift] キーのあとに、正しいポート番号を入力してください。キーの入力は、それぞれ 1 秒以内で操作してください。

### ■キーボード・マウスが操作できない

キーボード・マウスの動作が不安定になっている可能性があります。コンソールポートに接続したキーボード・マウスを抜き差ししたり、ポートセレクトボタンでリセットしたりしてください。
それでも動作が安定しない場合は、P.76 「■動作が安定しない」を確認してください。

### ■ディスプレイが表示されない

ディスプレイの電源がオンになっていること、ディスプレイのケーブルを正しく接続していること、KVM ケーブルを正しく接続していることなどを確認してください。

### ■パソコンの電源がオフの状態で ONLINE LED が点灯する

電源をオフにしても、電源が待機状態になるパソコンや、キーボードで電源をオンにする機能に対応しているパソコンなどでは、パソコンの電源をオフにしても、ONLINE LED が点灯することがあります。

### ■ OSD メニューを表示できない

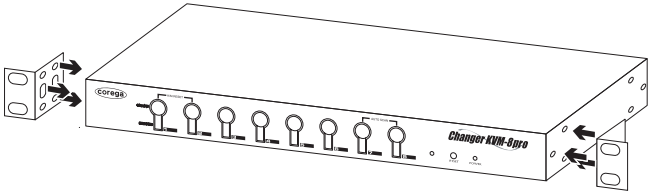
キーを正しく押してください。OSD メニューを表示するキーを［Ctrl］キーから［Scroll Lock］キーに変更している場合は、正しいキーを押してください。

# 19 インチラックマウントセットの取り付け方法

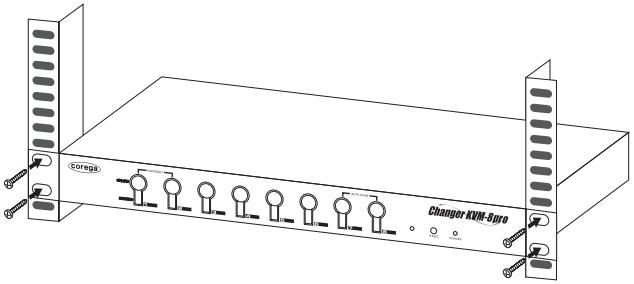
本商品は、付属の 19 インチラックマウントセットを使用して 19 インチラックに 1U サイズで取り付けられます。次の手順で 19 インチラックに取り付けます。

> メモ　作業の前に AC アダプタ、ケーブルをすべて取り外してください。

***1*** **本商品の台座（4 つ）を取り外し、ブラケットを取り付けます。**




***2*** **ラックに付属のネジを使用して、19 インチラックに本商品を取り付けます。**




以上で、19 インチラックへの取り付けは完了です。

# 接続台数について

本商品をカスケード接続することで、本商品に接続できるパソコンの台数を増やせます。本商品の台数と接続できるパソコンの台数の関係は、次の表のとおりです。

| 本商品の台数 | パソコンの台数 | 本商品の台数 | パソコンの台数 | 本商品の台数 | パソコンの台数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1～8 | 26 | 177～183 | 51 | 352～358 |
| 2 | 9～15 | 27 | 184～190 | 52 | 359～365 |
| 3 | 16～22 | 28 | 191～197 | 53 | 366～372 |
| 4 | 23～29 | 29 | 198～204 | 54 | 373～379 |
| 5 | 30～36 | 30 | 205～211 | 55 | 380～386 |
| 6 | 37～43 | 31 | 212～218 | 56 | 387～393 |
| 7 | 44～50 | 32 | 219～225 | 57 | 394～400 |
| 8 | 51～57 | 33 | 226～232 | 58 | 401～407 |
| 9 | 58～64 | 34 | 233～239 | 59 | 408～414 |
| 10 | 65～71 | 35 | 240～246 | 60 | 415～421 |
| 11 | 72～78 | 36 | 247～253 | 61 | 422～428 |
| 12 | 79～85 | 37 | 254～260 | 62 | 429～435 |
| 13 | 86～92 | 38 | 261～267 | 63 | 436～442 |
| 14 | 93～99 | 39 | 268～274 | 64 | 443～449 |
| 15 | 100～106 | 40 | 275～281 | 65 | 450～456 |
| 16 | 107～113 | 41 | 282～288 | 66 | 457～463 |
| 17 | 114～120 | 42 | 289～295 | 67 | 464～470 |
| 18 | 121～127 | 43 | 296～302 | 68 | 471～477 |
| 19 | 128～134 | 44 | 303～309 | 69 | 478～484 |
| 20 | 135～141 | 45 | 310～316 | 70 | 485～491 |
| 21 | 142～148 | 46 | 317～323 | 71 | 492～498 |
| 22 | 149～155 | 47 | 324～330 | 72 | 499～505 |
| 23 | 156～162 | 48 | 331～337 | 73 | 506～512 |
| 24 | 163～169 | 49 | 338～344 | | |
| 25 | 170～176 | 50 | 345～351 | | |

# 工場出荷時の OSD 設定一覧

工場出荷時の OSD 設定は、次のとおりです。

| 項目 | 初期設定 |
|---|---|
| OSD ACTIVATING HOTKEY | [Ctrl] 2回押し |
| CHANNEL DISPLAY POSITION | 画面左上隅 |
| CHANNEL DISPLAY DURATION | 3秒 |
| CHANNEL DISPLAY MODE | ポート番号＋ポート名 |
| SCAN DURATION | 3秒 |
| LIST | ALL |

# ホットキー一覧表

ホットキー操作の一覧は、次のとおりです。

| 動作内容 | 操作方法 |
|---|---|
| OSD メニュー画面を表示する | ・[Ctrl] → [Ctrl]（初期値）<br>・[Scroll Lock] → [Scroll Lock]（変更した場合） |
| パソコンを指定して切り替える | [Ctrl] → [Alt] → [Shift] → [ポート番号] → [Enter] |
| パソコンをオートスキャンで切り替える | [Ctrl]→[Alt]→[Shift]→[0(数字のゼロ)]→[Enter] |
| ブザー音のオン／オフを切り替える※ | [Ctrl] → [Alt] → [Shift] → [B] → [Enter] |

※本商品のリビジョンが C1 以降で対応します。

# 製品仕様

## ■ CG-CKVM8P 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 対応PC | | ミニD-Sub（15ピン）のアナログRGBディスプレイ出力端子とPS/2端子（2ポート）を標準搭載しているDOS/Vパソコン |
| 対応OS | | Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000/Me/98SE/98/95/3.1/NT4.0/NT3.51、Windows Server 2008（32bit）、Windows Server 2003（32bit）、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、MS-DOS6.2以降、Free BSD（※）、Linux（※）（※サポート対象外:Free BSD、Linux） |
| 対応周辺機器 | ディスプレイ | アナログRGBディスプレイ |
| | キーボード | PS/2キーボード |
| | マウス | PS/2マウス |
| 取得承認 | | VCCIクラスB |
| インタフェース | コンソール側 | ディスプレイ:ミニD-Sub（15ピン）メス×1 |
| | | キーボード:ミニDIN（6ピン）メス×1 |
| | | マウス:ミニDIN（6ピン）メス×1 |
| | パソコン側 | ディスプレイ:ミニD-Sub（15ピン）メス×8 |
| | | キーボード:ミニDIN（6ピン）メス×8 |
| | | マウス:ミニDIN（6ピン）メス×8 |
| 最大解像度 | | 1,920×1,440 |
| 切替方法 | | ポートセレクトボタンによる切り替え、OSDによる切り替え、キーボードによるホットキー切り替え |
| 切替音 | | あり（オン/オフ設定可能（※1））|
| 電源仕様 | 本体 | 最大消費電力:1.08W |
| | ACアダプタ | 定格入力電圧:AC100V（50/60Hz） |
| | | 定格入力電流:60mA |
| 環境条件 | 動作時 | 温度0～40℃／湿度80%以下（結露なきこと） |
| | 保管時 | 温度−20～60℃／湿度95%以下（結露なきこと） |
| 本体形状 | | ボックスタイプ |
| 外形寸法 | | 433（W）×155（D）×44（H）mm 本体のみ（突起部を含まず） |
| 質量 | | 2.6kg 本体のみ |

※1 製品のリビジョンがC1以降で、切替音のオン/オフを切り替えられます。

# 保証と修理について

## ■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

## ■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- 弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- 「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

## ■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されていますのでご覧ください。

**http://corega.jp/repair/**

# おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

Copyright©2010　アライドテレシスホールディングス株式会社
corega は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカの商標または登録商標です。

2001 年 4 月　初　版
2010 年 2 月　第二版

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# 【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

**お問い合わせ用紙**　※ CG-CKVM8P 専用お問い合わせ用紙

**お電話にてお問い合わせをいただいた場合、製品の仕様上、環境や現象などを正確に把握して、問題を解決するまでにお時間がかかる場合がございます。お手数ですが、なるべく FAX・メールサポートをご利用いただきますようお願いします。**

お問い合わせ日：　　年　　月　　日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **会社名** | | **部署名** | |
| **フリガナ** | | **ご購入先** | |
| **ご担当者名** | | | |
| **ご連絡先** | TEL：<br>携帯電話：　　FAX： | | |

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **商品名（型番）** | | **ファームウェアバージョン** | |
| **シリアル番号** | (S/N) □□□□□□□□□□□□□□□ Rev.□□ | | |

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

□トラブル　（□常に発生する　　□特定の動作をすると発生する　　□不定期に発生する）
□設定方法　（□初期など　　□購入後）

□別紙あり（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

**－　このページをコピーしてお使いください　－**
**メールサポートも承っておりますのでご検討ください　http://corega.jp/faq/**

## ■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

**http://corega.jp/**

## ■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

**●お問い合わせ先**

**【コレガサポートセンタ】**

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

**http://corega.jp/faq/**

FAX　045-476-6294
電話　045-476-6268

〈受付時間〉
10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.

※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

**●必要事項**

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。
- 商品名
- シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- 接続構成
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）